

健康統計の基礎 第14回

今回は、クロス集計表と独立性の検定（テキスト 176～187ページ）について学習します。

表計算ソフト「Excel 2016」を使って、推測統計学の手法のひとつである、仮説検定について演習をします。

テキスト

- 石村貞夫・劉晨・石村友二郎(2013)『Excelでやさしく学ぶ統計解析2013』東京図書.

今回の内容

小テスト

前回説明した、対応のある平均の差の検定について、理解度を把握するための小テストを実施します。

ミニ講義

テキストの「第13章 クロス集計表と独立性の検定」（176～187ページ）について、解説をします。テキストに書かれていないことも説明しますが、説明した内容はすべて、次回の授業で小テストをして理解度を確認する予定です。

演習

演習では、テキストの次の内容に取り組みます。ただし、[項目ごとに指示](#)がありますので、それにしたがって演習をすすめてください。

- 13.1 クロス集計表の作成(177～180ページ)
- 13.2 独立性の検定(181～187ページ)

今回の課題

- 課題: [クロス集計表と独立性の検定](#)

演習の内容

使用するファイルのダウンロード

今回の演習で使用するファイルを、eラーニングのサイトからダウンロードして、自分のパソコンに保存します。

1. eラーニングの授業のページを開く
2. 「第14回」の「**第14回の課題用ファイル(クリックしてダウンロード)**」をクリック
3. 「名前を付けて保存」ボタンでファイルを保存した後、ファイルを開く

ファイルを開いたら、Excelのウィンドウ上部の「編集を有効にする」をクリックして、演習をはじめてください。

13.1 クロス集計の作成 (177～180ページ)

テキストの177～180ページまでの説明にしたがって、Excelの「**ピボットテーブル**」機能を使って、クロス集計表を作成してください。

操作ができれば、さらに次のようにして、新しくできたシートの名前を変更してください。

1. 新しくできたシート(「Sheet～」ではじまる名前)の名前を右クリック
2. メニューから「名前の変更」を選択
3. シートの名前が入力できるので、「ピボットテーブル」と変更して「Enter」キーを押す

シートの切り替え

ここまでの演習ができれば、使用するシート(ワークシート)を切り替えてください。

1. ウィンドウ左下の「13.2」をクリック
2. 表示されるシートが切り替わる

13.2 独立性の検定 (180～187ページ)

有意水準 5%で検定する (182～187ページ)

テキストの182～187ページまでの説明にしたがって、有意水準5% ($\alpha=0.05$) で検定しますが、次に指示をする箇所については、テキストの説明を読み替えて操作してください。

- 183ページ:手順1

- B8セルに次の数式を入力

$$=(E5*B3-B5*E3)^2/(E5*B5*E3)$$

- B9セルに次の数式を入力

$$=(E5*B4-B5*E4)^2/(E5*B5*E4)$$

- C8セルに次の数式を入力

$$=(E5*C3-C5*E3)^2/(E5*C5*E3)$$

- C9セルに次の数式を入力

$$=(E5*C4-C5*E4)^2/(E5*C5*E4)$$

- D8セルに次の数式を入力

```
=(E5*D3-D5*E3)^2/(E5*D5*E3)
```

- D9セルに次の数式を入力

```
=(E5*D4-D5*E4)^2/(E5*D5*E4)
```

- 186ページ:手順4

- B14セルに、確率「0.05」を入力

- B15セルに、CHISQ.INV.RT関数を使って、カイ2乗分布の値(χ^2 値)を求める

- 「数式」タブの「関数の挿入」をクリック
- 「関数の挿入」で、関数の分類に「統計」を選択し、「CHISQ.INV.RT」を選択して「OK」をクリック

- 186ページ:手順4

- 引数の「確率」の入力欄は「B14」セルを指定
- 引数の「自由度」の入力欄は「2」と入力

- B18セルに次の計算式を入力して、検定統計量が棄却域に含まれるかどうかの判別を表示させる(検定統計量 棄却限界なら「含まれる」、そうでない「含まれない」と表示)

```
=IF(B11>=B15,"含まれる","含まれない") IF関数を使用
```

さらに、検定の結果を文章としてまとめましょう。

B18セルの結果から判断して、B19セルに「関連がある」のか「関連があるとはいえない」のか、検定の結果を入力してください。

有意水準 1%で検定する

有意水準5% ($\alpha=0.05$) での検定を参考に、次のセルに計算をして、有意水準1% ($\alpha=0.01$) で検定してください。

- E14セル:「0.01」と入力
- E15セルに、CHISQ.INV.RT関数を使って、カイ2乗分布の値(χ^2 値)を求める
 - 引数の「確率」の入力欄は「E14」、「自由度」の入力欄は「2」とする
- E18セル:IF関数を使って、検定統計量(B11)と棄却限界(E15)を比較して、検定統計量が棄却域に含まれるかどうかの判別を表示
- E19セル:E18セルの結果から、「関連がある」のか「関連があるとはいえない」のか、検定の結果を入力

第14回の課題：クロス集計表と独立性の検定

課題の内容

今回の課題では、テキストの208～211ページにある「問題13」に取り組んでください。

「課題」というワークシートにデータがありますので、クロス集計表の作成と独立性の検定を、次の指示にしたがって行ってください。

クロス集計表の作成

Excelの「ピボットテーブル」機能を使って、次の図のようなクロス集計表を作成してください。

(なお、図の中の集計した数値は隠しています)

| | A | B | C | D | E |
|----|-------------|----|----|--------|----|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | データの個数 / 名前 | 職種 | | | |
| 4 | 性別 | 管理 | 警備 | 事務 | 総計 |
| 5 | 女性 | | | | |
| 6 | 男性 | | | | |
| 7 | 総計 | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | 統計量 | 管理 | 警備 | 事務 | |
| 11 | 女性 | | | | |
| 12 | 男性 | | | | |
| 13 | | | | | |
| 14 | 検定統計量 | | | | |
| 15 | | | | | |
| 16 | 5%検定 | | | 1%検定 | |
| 17 | 有意水準 | | | 有意水準 | |
| 18 | 棄却限界 | | | 棄却限界 | |
| 19 | | | | | |
| 20 | 検定の結果 | | | 検定の結果 | |
| 21 | 棄却域に | | | 棄却域に | |
| 22 | 職種と性別は | | | 職種と性別は | |
| 23 | | | | | |

クロス集計表を作成したら、上の図を参考に、各セルに文字を入力してください。

クロス集計表の作成とセルへの文字入力ができたら、新しくできたシートの名前を変更してください。

- 新しくできたシート(「Sheet～」ではじまる名前)の名前を右クリック
- メニューから「名前の変更」を選択
- シートの名前が入力できるので、自分の学籍番号と氏名(例:H2161000 兵庫太郎)に変更して「Enter」キーを押す

有意水準 =0.05 で検定

演習でやったことを参考に、次のセルに計算・入力をして、有意水準5% (=0.05) で検定してください。

- B11～D12セルに、統計量を求める(テキストに書かれたセルとは異なるので注意)
- B14セルに検定統計量を求める
- B17セルに「0.05」と入力
- B18セルに、有意水準5%で両側検定の棄却限界を求める
- B21セルに、IF関数を使って、検定統計量が棄却域に含まれるの判断を表示させる(検定統計量 棄却限界なら「含まれる」、そうでない「含まれない」と表示)
- B22セルに、検定の結果から、職種と性別に「関連がある」のか「関連があるとはいえない」のか判断して、どちらかを入力

有意水準 =0.01 で検定

演習でやったことを参考に、次のセルに計算・入力をして、有意水準1% (=0.01) で検定してください。

- E17セルに「0.05」と入力
- E18セルに、有意水準5%で両側検定の棄却限界を求める
- E21セルに、IF関数を使って、検定統計量が棄却域に含まれるの判断を表示させる
(検定統計量 棄却限界なら「含まれる」、そうでない「含まれない」と表示)
- E22セルに、検定の結果から、職種と性別に「関連がある」のか「関連があるとはいえない」のか判断して、どちらかを入力

課題の提出方法

ファイルの保存

課題が完成したら、ファイルを上書き保存してください。

まだファイル名を変更していない場合は、次のようにしてください。

1. 「ファイル」タブをクリックして、「名前を付けて保存」を選択
2. 保存する場所に「このPC」を選択した後、「参照」をクリック
3. ファイルを保存したいフォルダを選択
4. ファイル名に「0710」+「学籍番号」+「.xlsx」を設定(半角文字で)
 - 例:学籍番号がH2171000の場合、ファイル名は「0710h2171000.xlsx」

課題の提出

保存できたら、eラーニングのシステムにアップロードして、課題を提出します。保存できたら、eラーニングのシステムにアップロードして、課題を提出します。

1. 「第14回の課題」をクリック
2. 「提出を追加する」ボタンをクリック
3. 「ファイル提出」の中にある「ここにドラッグ&ドロップして...(省略)」という場所に、ファイルをドラック&ドロップ
4. ファイルが登録されたら、「変更を保存する」ボタンをクリックして、下書き状態として保存
 - ファイルを提出し直す場合は、再度「提出を編集する」ボタンをクリックして、新しいファイルを提出する
5. ファイルを修正する必要がなければ、「課題を提出する」ボタンをクリックすれば、提出完了！

課題の期限

期限をすぎると、提出できなくなる場合がありますので、注意してください。

- 提出期限: 2018年7月17日(火) 14:40まで